



平成18年9月1日

各 位

上場会社名 株式会社 松坂屋ホールディングス
代表者氏名 代表取締役社長 茶 村 俊 一
コード番号 3051
本社所在地 名古屋市中区栄三丁目16番1号
上場取引所 名証・東証 第一部
決 算 期 2月
問 合 せ 先 広報・IR室 山 川 俊 朗
(TEL.052-264-7025)

平成19年2月期の業績予想について

当社は、本日、平成18年9月1日付で株式会社松坂屋の株式移転により同社の完全親会社として設立され、株式会社松坂屋は平成18年8月28日付で上場廃止となり、当社が平成18年9月1日付で東京証券取引所市場第一部および名古屋証券取引所市場第一部に上場いたしました。

つきましては、当社の平成19年2月期の業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

なお、以下の業績予想は、新規上場会社となった当社（株式会社松坂屋ホールディングス）として行うものであり、平成18年8月24日付で株式会社松坂屋が公表した内容と同じであります。

記

1. 連結業績予想（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成19年2月期	339,000	7,200	7,200	4,700

なお、連結業績予想数値は、株式会社松坂屋の中間期連結決算数値を引き継いで作成しております。

2. 個別業績予想（平成18年9月1日～平成19年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成19年2月期	3,000	2,500	2,400	2,400

3. 平成19年2月期の配当予定について

当社は、平成19年2月末の株主様に対し1株当たり4円の期末配当を予定しております。

以 上

参考資料：松坂屋グループ戦略構想について

松坂屋グループ戦略構想について

この戦略構想は、今後の松坂屋グループにおける経営の方向性を示すものです。

現在推進中の松坂屋中期経営計画（05 - 07年度）については、諸施策をできるだけ前倒して実施し、07年3月から、新たなグループ中期経営計画をスタートさせる予定です。新経営計画は、この戦略構想の方向性にに基づき策定します。

1. 基本的な方針

松坂屋グループは、百貨店を中核事業として、百貨店とのシナジーの発揮を基本に、既存グループ事業を強化するとともに、生活文化の創造に貢献する新たな事業分野に進出し、事業の拡大を図ります。

重点事業分野と優先順位を明確にした戦略的投資を実行し、資産効率の高い経営を実践することに加えて、事業再編スピードを加速し、松坂屋グループ全体の企業価値向上を目指します。

2. 事業戦略の概要

百貨店事業では、顧客視点での営業革新を軸とした既存店の収益力強化と、松坂屋ブランドの価値向上に向けた銀座地区での次世代型百貨店の開発などに取り組み、安定した収益の確保と成長を目指します。

グループの既存事業では、百貨店事業とのシナジー効果の最大化と市場競争力強化に努め、グループ外取引を拡大することで、連結収益の増大を目指します。

開発・不動産事業では、銀座地区や名古屋栄などで商業を中心とする複合施設の開発に取り組む一方、所有不動産の付加価値を高める諸施策を推進して、収益の最大化を図ります。

新規事業では、松坂屋グループの強みである数多くの優良顧客を主な対象として、サービス領域での事業展開を拡大するほか、他社とのM & A、業務提携などを活用した新たな小売業態への進出を目指します。

また、基盤整備として、グループ会社を含めた人的資源の再配分、外部人材の登用など抜本的な人的インフラの整備・強化に取り組むとともに、成長シナリオに基づく戦略的投資の実行によりグループの発展を目指していきます。